

光受信端末

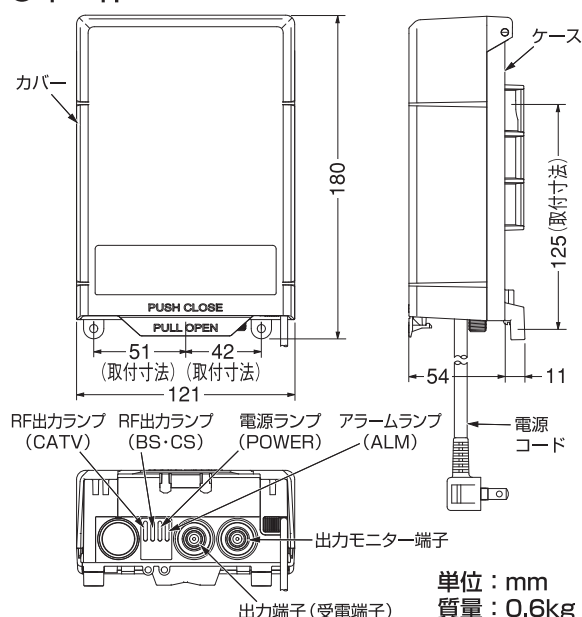
Model SRT27CW(B)

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をお読みください。

取扱説明書

各部の名称

●本 体



●同梱品 防水キャップ 1本

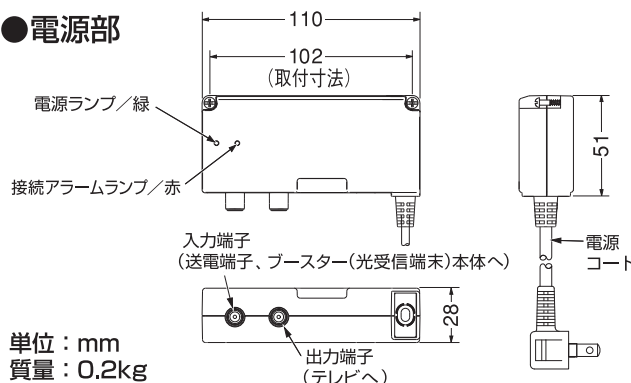
取扱上の注意

取付工事は、専門の施工業者にご依頼ください。

目 次

表紙	説明の始まるページ
〔取扱説明書〕	
各部の名称	1
取扱上の注意	1
メンテナンス	1
保証書	1
安全上の注意	2
特長	3
性能規格	3
〔施工説明書〕	
設置場所	4
カバーの開け方	4
トレイの外し方	4
電源部の取り外し方	4
電源方式の変更	4
取付方法	4
同軸ケーブルの接続方法	5
電源部の接続モニター機能	5
光ファイバー、光コネクタの取り扱い	5
操作方法	6

●電源部



メンテナンス

いつまでも美しい映像(音声)をお楽しみいただくために、1年に1回は専門業者に受信状態、ケーブル接続、ボルト・ナット、ねじの取付状態の点検や増し締めなどの保守をご依頼ください。

保証書

型 名	SRT27CW(B)		
お 客 様	お名前		
	ご住所		
	電話番号	()	
お買上げ日	取扱販売店名・住所・電話番号		
年 月 日			
保証期間(お買上げ日より)			
本体1年(但し消耗品は除く)			

この保証書は、本書記載内容で無料交換・修理をおこなうことをお約束するものです。なお、弊社支店・営業所・出張所は弊社ホームページをご覧ください。

〈無料交換・修理規定〉

1. 取扱説明書、施工説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、代替品と交換、または無料修理させていただきます。
- ①故障内容、商品によっては修理できないことがあります。その場合は代替品と交換させていただきます。
- ②無料交換・修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。
- ③修理対象品を直接弊社まで送付された場合の送料はお客様負担とさせていただきます。

(裏面に続きます)

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただいたうえで本文をお読みください。

絵表示の例		△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は危険、警告または注意)が描かれています。
		○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
		●記号は行為を強制および指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般指示)が描かれています。

危険

		光ファイバーのビームを絶対にのぞき込まない。 ●光ファイバーには不可視レーザー光が放射されています。目に障害を与える危険性があります。
---	---	--

警告

	放熱を妨げない。 ●使用中に覆ったり、通風孔があるものについては塞いだりすると、熱がこもって火災の原因となります。		電源部は悪条件の場所に置かない・設置しない。 ・不安定な場所 ・直射日光の当たる場所 ・温度が高くなる場所(車内、サンルームなど) ・油煙や湯気が当たる場所(調理場など) ・湿気が高い場所(屋外、風呂場、シャワー室、加湿器付近など) ・ホコリの多い場所(物置、屋根裏など) ●機器が落下して、けがの原因となります。 ●火災・感電の原因となります。		高所作業は専門業者に依頼する。 ●けがや落下事故の原因となります。
	上や近くにクギ、針、ヘアピンなどを置いたり、内部に異物を入れたりしない。 ●開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものが内部に侵入すると、火災・感電の原因となります。		水ぬれ禁止		電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない。 ●電源コードが傷んだら(破損、芯線の露出、断線)販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	AC100V以外で使用しない。 ●火災・感電の原因となります。		シャワー禁止		電源プラグの刃や刃付近のホコリや金属物は取り除く。 ●ホコリや金属物はプラグを抜いて乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	ペットなどの生き物が上に乗らないようにする。 ●排泄物や体毛などが中に入ると、火災・感電の原因となります。		確実に差し込む		以下の状況では電源プラグ(またはACアダプター)を抜く。 ・内部に水や異物、虫などが入ったとき ・煙やにおい、音などの異常が発生したとき ・落したり、破損したとき ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に点検をご依頼ください。 ※電源プラグ(またはACアダプター)は容易に抜くことができる位置のコンセントに接続してください。
	上に薬品や水などの入った花瓶、容器を置かない。 ●こぼれて水や薬品が中に入ると火災・感電の原因となります。		分解禁止		電源プラグを抜く
	雷が鳴りだしたら接続ケーブルや機器には触れない。 ●感電の原因となります。		濡れ手禁止		

注意

	悪条件の場所に置かない・設置しない。 ・不安定な場所 ・油煙や湯気が当たる場所(調理場など) ・温度が高くなる場所(車内、サンルームなど) ・温泉地や有害がスの発生する場所 ・ホコリの多い場所(物置、屋根裏など) ●機器が落下して、けがの原因となります。 ●火災・感電の原因となります。		電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない。 ●電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。		重いものをのせたり、上に乗ったりしない。 ●機器が倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。
	機器を移動させるときは、接続されている線などをすべて外す。 ●機器が倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。 ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。		高温環境下での使用中は、長時間触れない。 ●内部の発熱により、部分的に表面が熱くなることがあります。高温部に長時間触れていると、低温やけどの原因となることがあります。		同軸ケーブルの芯線に触らない。 ●指に刺してけがの原因となることがあります。
	接続線を外す		接触禁止		電源プラグを抜く
			指示		電源プラグを抜く

2. 保証期間内でも次の場合には無料交換・修理の対象外とさせていただきます。

- ① 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
- ② お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- ③ 火災、爆発事故、突風、豪雨、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障および損傷。
- ④ 工業地域、海岸付近、温泉地等の地域における公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
- ⑤ カラス、ねずみ、昆虫などの動物の行為や、植物などに起因する故障および損傷。
- ⑥ 異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
- ⑦ 用途以外で使用した場合の故障および損傷。
- ⑧ 塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
- ⑨ 消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。
- ⑩ 日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
- ⑪ 本書のご提示がない場合。
- ⑫ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

3. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料交換・修理をお受けになれない場合は、最寄の弊社支店・営業所・出張所またはお客様窓口にお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan)
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料交換・修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、弊社支店・営業所・出張所またはお客様窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については最寄の弊社支店・営業所・出張所またはお客様窓口にお問い合わせください。

特 長

1. 本製品は多チャンネル光分配型映像配信システムにおける光終端装置です。
2. VHF・UHF (70～770MHz)、BS・CS-IF (1032～2681MHz) と広帯域の伝送が可能です。
3. AGC機能を内蔵しており、外部調整の必要がなく、安定した出力レベルが確保できます。また、15dBのアッテネーターにより、出力レベル調整がおこなえます。
4. VHF・UHF (CATV) 帯とBS・CS-IF帯を帯域別にRF出力をON/OFF遠隔制御することが可能です。
5. 電源部は本体ケースから取り外すことができます。取付場所の状況に応じて、電源一体型、または電源分離型としてお使いいただけます。
- また、電源部には接続モニター機能を搭載しており、本体との接続状態を電源部のランプで確認できます。
6. 光ファイバー余長収納部があり、メカニカルスプライス(別売)、中継用光アダプター(別売)の固定も可能です。本体は121×180×65mmとコンパクトです。
7. 本体ケースは耐食性、耐候性にすぐれたASA材を使用しております。
8. 内部は不要放射を抑えたシールド構造になっております。

性能規格

●本体

項 目		性 能		備 考
		VHF・UHF (CATV) 70～770MHz	BS・CS-IF 1032～2681MHz	
光 特 性	光入力レベル (dBm)	-14～-2		
	光波長 (nm)	1540～1560		
	光コネクタ	SC-SPC		適用ファイバーはシングルモード
電 気 特 性	伝送波数 (波)	デジタル80	37	
	出力レベル (dBμV)	87±3	89±3	※1
	帯域内周波数特性 (dBp-p)	4以内	5以内	※1
	出力インピーダンス (Ω)	75		C15形F型
	出力VSWR	2.5以下		
	出力レベル調整ATT (dB)	15		スイッチ切換
	出力モニター (dB)	-20		
	CN比 (dB)	30以上	16以上	※1
	RF出力ランプ	視 聴 可：点灯 視聴不可：消灯	視 聴 可：点灯 視聴不可：消灯	LED緑
	アラーム機能	光入力レベル断時LED点灯		LED赤
	不要放射 (dBμV/m)	34以下		3m法による
	電源電圧 (V)	AC100±10 (50/60Hz)		※2
	消費電力 (W)	5.5以下		※2
	耐雷性 (kV)	±25 (1.2/50μs)		ACライン間、RF出力端子、電源部送電端子
使用温度範囲 (℃)		-20～+40		本体周囲温度
使用湿度範囲 (%)		20～90		結露なきこと
防水性		JIS C 0920 保護等級4		

RF遠隔制御対応可能 70～770MHz・1032～2681MHzの帯域別視聴制御、制御受信周波数 75.5MHz

- ※1 弊社光送信機との対向性能
 ・CN比帯域換算値 70～770MHz：5.6MHz、1032～2681MHz：28.9MHz
 ・変調度 70～770MHz：3.2%、1032～2681MHz：1.5%
 ・弊社測定系による
- ※2 専用電源(NPS500A)
 ・電源着脱可能

●電源部

項 目	性 能
周波数帯域 (MHz)	10～770 770～3224
挿入損失 (dB)	1.5以下 3.0以下
VSWR	1.5以下 2.5以下
入力電圧 (V)	AC100±10 (50/60Hz)
送電電圧 (V)	DC15
電源コードの長さ (m)	1

⚠ 注意

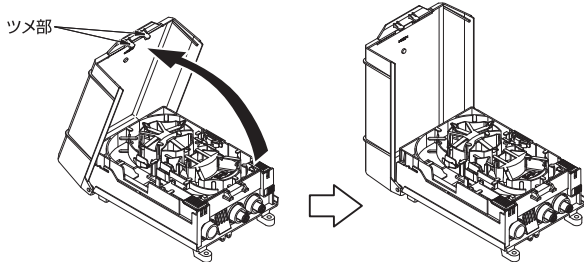
本器には付属電源をご使用ください。付属電源を他の機器に使用したり、他の目的で使用しないでください。故障ばかりでなく、火災、感電の原因となることがあります。

施工説明書

設置場所

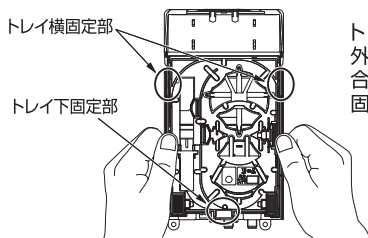
- 高温（40℃以上）の場所、直射日光に当たる場所、有毒ガスなどの発生する場所は避けてください。
- 電気配線、電気工作物の近くや、強い電磁波を受ける場所を避けてください。
- メンテナンスに容易な場所を選定してください。
- 本製品には電源スイッチが搭載されていません。異常時などに電源プラグが速やかに抜脱可能な場所のコンセントを利用してください。

カバーの開け方



ツメ部を外し、上へゆっくり持ち上げてください。カバーの開度は2段階構造になっています。カバーを閉める際は、ファイバー、電源コードを挟まないように十分注意してください。

トレイの取り外し方



トレイを上へスライドすると、外れます。トレイを取付ける場合、下にスライドして横と下の固定部にはめてください。

電源方式の変更

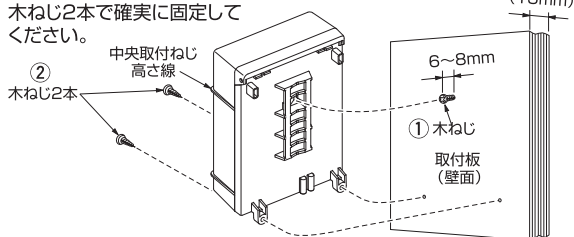
- 出荷時は付属電源が内蔵された状態になっています。電源分離で使用する場合は、本体と電源部を分離してご使用ください。
- 電源部を分離して使用するときは、本体の出力端子（受電端子）と電源部の入力端子（送電端子）を間違えずに接続してください。防水性保持のため、光受信部のACコード通過穴にはスライドカバーをスライドさせ穴をふさいでください。
- 本体と電源部間のケーブル長は、S-5C-FB以上のケーブルで20m以下にしてください。
- 本体と電源部間に壁面端子などの機器を通す場合は、全ての機器が電通可能になっていることをご確認ください。

取付方法

●壁面取付

本製品には本体取付用ねじを付属していません。（付属ねじは電源部取付用です。）木板の場合は呼び径3.1～4.1mmの丸頭木ねじ（推奨長：16mm以上）を3本ご用意ください。

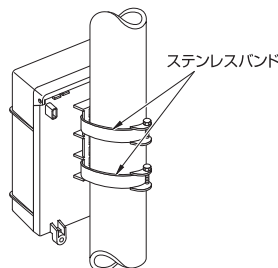
- ①中央固定用に壁面（柱）表面から6～8mm出るように木ねじをねじ込んでください。
- ②本体を中央の木ねじに引っ掛けて固定した後、下部左右を木ねじ2本で確実に固定してください。



●マスト取付

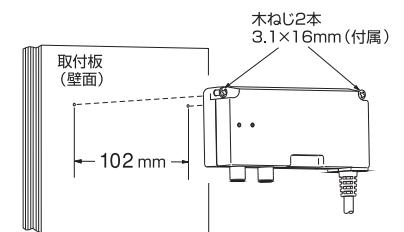
（適用径：22～55mm）

ステンレスバンド（市販品）を使用してマストに取り付けることができます。（適用バンド幅：5～20mm）



●電源部（電源分離時）

付属の木ねじを使用して、電源取付部を確実に固定してください。



付属の木ねじは15mm厚の盤用木板（ベニア合板）用です。他の材質面へ取り付けの場合は適切なねじをご使用ください。



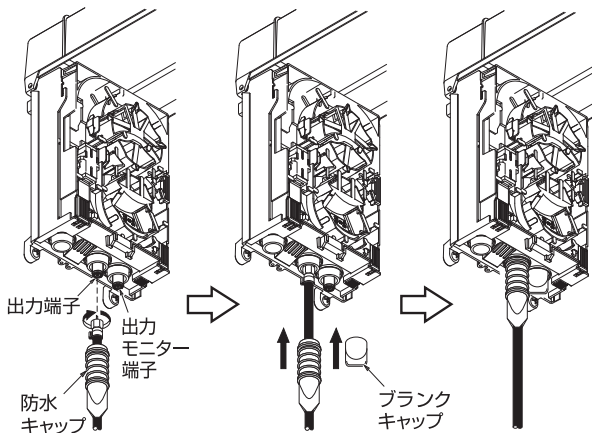
注意

- 電源部の設置場所は風通しの良い、目の届く位置に取付方法に従って設置してください。押入や天井裏などの見えない場所や、常に水のかかる所、湿気の多い所はさけてください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源部の上には可燃性の物をのせないように注意してください。火災・感電の原因となることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源部を本体収納で使用する場合も電源コードは雨露にさらされない方法で施工してください。火災・感電の原因となることがあります。

同軸ケーブルの接続方法

●F型接栓締付トルク 約2.0N・m

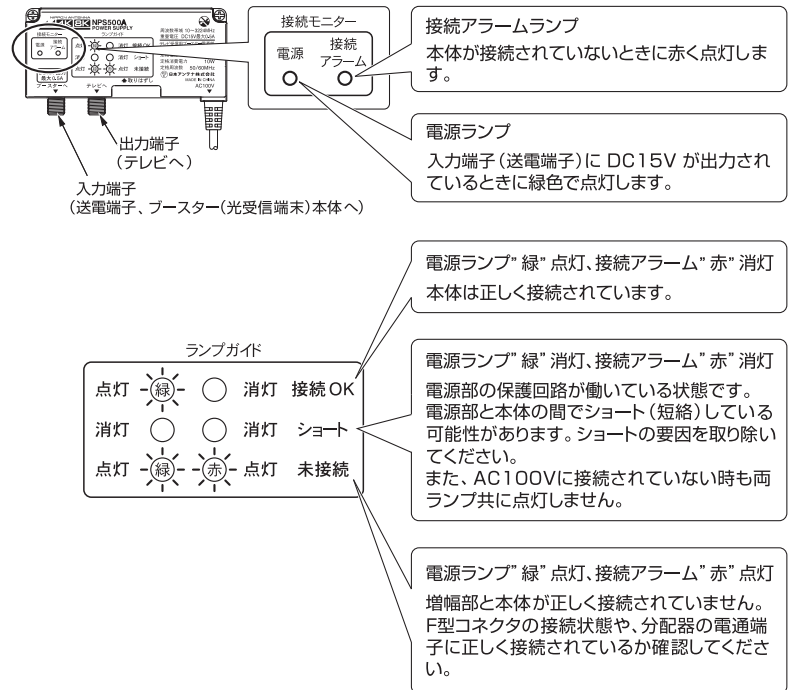
同軸ケーブルを出力端子に接続し、スパナを用いて締付けます。このときの締付けトルクの目安は2.0N・mです。
締付け後、防水キャップを奥に突き当たるまで確実に挿入します。



出力モニター端子には、必ずブランクキャップを装着してください。

電源部の接続モニター機能

電源部には、分離して使用する場合に有効な接続モニター機能を搭載しています。



光ファイバー、光コネクタの取り扱い



危険

光ファイバーには不可視レーザー光が放射されています。目に障害を与える危険性がありますので、絶対に光ファイバーのビームをのぞき込まないでください。



注意

光ファイバーが破損した時は、破片などに手を触れないでください。破片でけがをする恐れがあります。

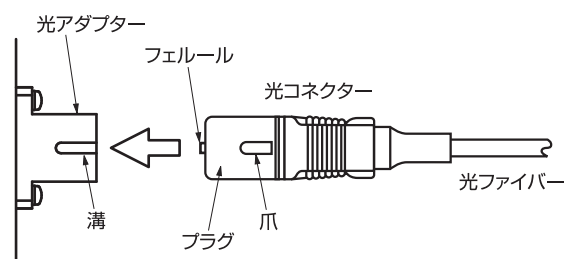
光ファイバー、光コネクタを取り扱う場合は、専門の施工業者が施工し、以下の内容を十分にご理解いただいたうえでご使用ください。取り扱いを誤ると、断線・損傷・特性劣化の原因となります。

光ファイバー

- 取扱うファイバーの許容曲げ半径をご確認ください。
- 光ファイバーによじりなどのストレスを極力かけないようにしてください。
- 光ファイバーを強く引っ張らないでください。
- 光ファイバーの余長収納時、ケースやカバーなどに挟まらないように細心の注意を払って配線してください。

光コネクタ

- 指定された光コネクタの種類、研磨方法以外の光コネクタは使用しないでください。
- 光コネクタを本製品に接続する際は、プラグの位置決め用の爪を、光アダプターの溝に合せてまっすぐに挿入してください。絶対に斜めには挿入しないでください。光コネクタ、光アダプターの破損の原因となります。
- 光アダプター内にマッチングオイルなどのグリスが入らないようにしてください。本製品にはマッチングオイルなどの使用を特に必要としません。
- 光コネクタを高所から落下させたり、硬いものにぶつけたりしないでください。



ポイント

光コネクタ端面について、肉眼では見えないわずかな汚れやゴミが付着しただけで光信号が途絶えることがありますので、以下のことをご注意ください。

- 光コネクタ接続時は必ず光コネクタ端面を専用クリーナーで綺麗にクリーニングしてください。(アルコールでクリーニングする場合は、必ず最後に乾拭きし、端面検査器で確認してから接続してください。)
- 光アダプターの保護キャップは光コネクタを接続する直前まで外さないでください。また、接続時以外は必ず保護キャップをしてください。
- 光コネクタはホコリや汚れに非常に弱いので、光コネクタ端面には絶対に触らないでください。

操作方法

■レベル確認

- 光伝送路の光コネクタ（SC-SPC）を光パワーメーターに接続して、本器の規定光入力レベル範囲内（-14～-2dBm）であることをご確認ください。
- 本器はAGC（Auto Gain Control）機能が備わっているため、GC調整などは必要ありません。
- 出力レベル調整として15dBのアッテネーターが備わっています。出荷時のスイッチは、0dB（右側）に設定されています。

●ドロップケーブル導入口

光ファイバー導入口は開閉式です。使用する導入口を開いてご使用ください。ご使用にならない場合は、閉じたままにしてください。固定蓋でロックします。

●余長収納部

余った光ファイバーを収納することができます。

●ドロップケーブル

家屋への光ファイバーの引き落とし用に、ドロップケーブルの固定部があります。

●RF出力ランプ

遠隔操作によるRF出力状態の変化によりランプが切り換わります。

全帯域出力：CATV、BS・CSランプ点灯

CATVのみ出力：CATVランプのみ点灯

BS・CSのみ出力：BS・CSランプのみ点灯

全帯域出力せず：CATV、BS・CSランプ消灯

●アラームランプ

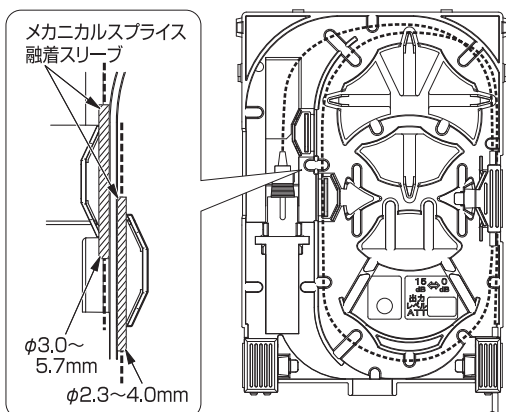
光入力断になるとアラームランプ（赤）が点灯します。点灯の際は、光入力レベルをご確認ください。

●出力モニター端子

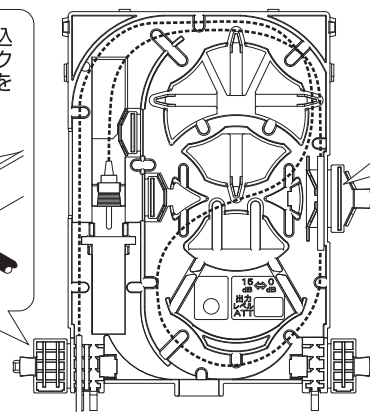
出力端子より20dB低い値が出力されます。出力端子が開放状態の場合は、出力モニターレベルが不正確となります。より正確なレベル測定をおこなう場合は、出力端子をご使用ください。

●光ファイバーの引き回し例

メカニカルスプライス、融着スリーブ、カブラ、フィルターなどは、ファイバーに負担がかからないように図のように装着してください。（融着スリーブは40mmのみ装着可能です。）

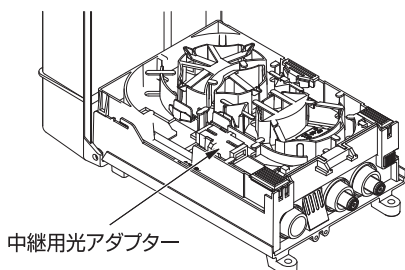


例1



例2

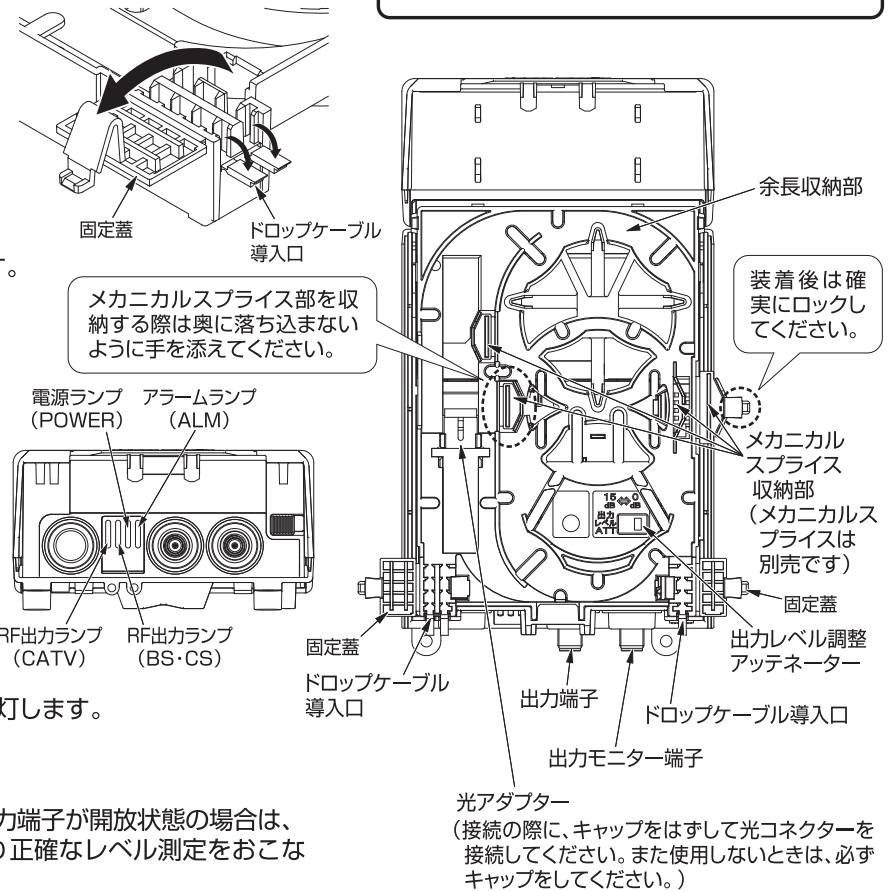
●中継用光アダプターの取付



本製品の光アダプターと重なるトレイ上の位置に、中継用光アダプターを取付けるスペースがあります。

⚠️ 注意

本器の規定光入力レベル範囲をはずれたレベル、また規定光波長（1550nm）以外を入力しないでください。機器の破損または性能の低下となる場合があります。



光アダプター
(接続の際に、キャップをはずして光コネクタを接続してください。また使用しないときは、必ずキャップをしてください。)

お客様
窓口



0570-091039

ご利用時間 9:00～12:00 13:00～17:30
(土・日祝祭日・弊社休業日を除く)

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

7129876 2024年1月